

令和元年度 第1回 二宮町下水道運営審議会次第

日 時 令和2年2月7日（金）

午前10時00分～

場 所 二宮町町民センター3Aクラブ室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

（1）平成30年度二宮町下水道事業の決算状況について

資料1

（2）二宮町下水道事業中期経営計画（平成29年度～平成32年度）  
の進捗状況について

資料2

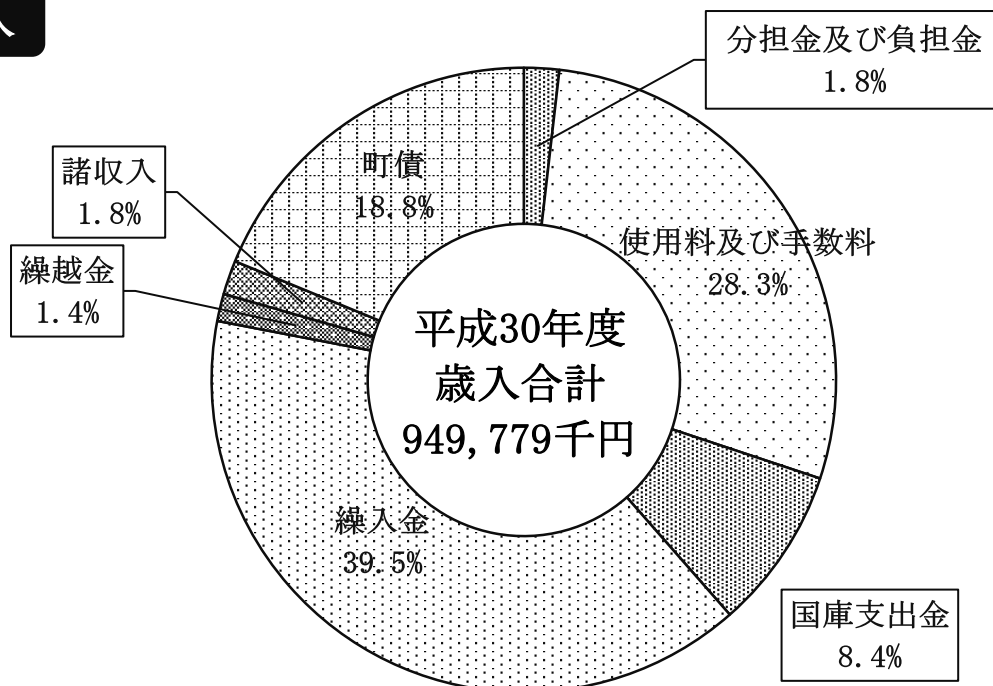
（3）二宮町下水道事業中期経営計画（平成29年度～平成32年度）  
の中間報告について

資料3

4 閉 会

## 平成30年度下水道事業特別会計の決算状況

## 歳入

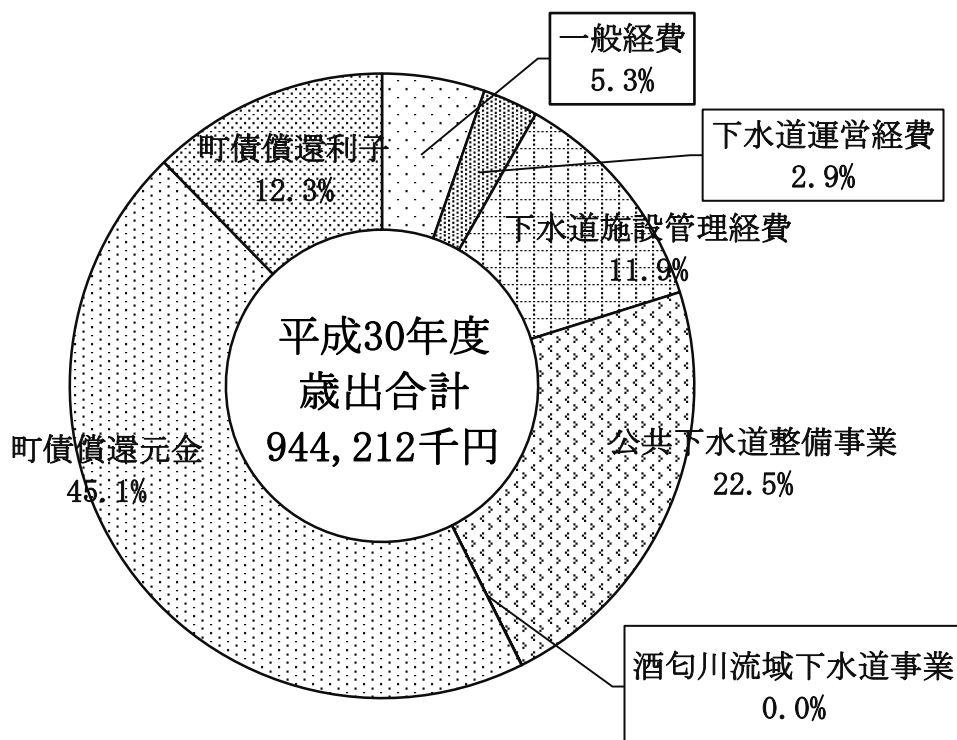


※グラフ中の割合は小数点第2位を四捨五入して表示しています

歳入			
	平成30年度	平成29年度	増減
分担金及び負担金	17,303 千円	18,607 千円	△1,304 千円
使用料及び手数料	268,671 千円	270,259 千円	△1,588 千円
国庫支出金	80,000 千円	95,500 千円	△15,500 千円
繰入金	375,147 千円	390,226 千円	△15,079 千円
繰越金	13,456 千円	10,346 千円	3,110 千円
諸収入	16,702 千円	8,723 千円	7,979 千円
町債	178,500 千円	151,000 千円	27,500 千円
歳入合計	949,779 千円	944,661 千円	5,118 千円

歳入について、分担金及び負担金は、一括前納の割合が前年度より若干縮減したことなどから減少しました。使用料及び手数料は、出納整理期間の収納日の影響などもあり微減となりました。また、人事異動に伴う一般経費の減少や、諸収入の増加に伴う財源調整の影響から、繰入金も前年度と比較して減少となりました。

## 歳出



※グラフ中の割合は小数点第2位を四捨五入して表示しています

歳出			
	平成30年度	平成29年度	増減
一般経費	50,245千円	54,529千円	△4,284千円
下水道運営経費	27,190千円	23,351千円	3,839千円
下水道施設管理経費	112,830千円	116,714千円	△3,884千円
公共下水道整備事業	212,025千円	204,675千円	7,350千円
酒匂川流域下水道事業	167千円	813千円	△646千円
町債償還元金	425,631千円	405,484千円	20,147千円
町債償還利子	116,125千円	125,640千円	△9,515千円
歳出合計	944,212千円	931,206千円	13,006千円

歳出について、総額が前年度より増加したのは各項目の増減の差引によるものですが、元金と利子からなる公債費の増分が大きな要因の一つとなっています。下水道事業債は元利均等払いで償還しているため、年次の進行に伴い元金が増加、利子は減少となりましたが、差引で増加となりました。歳出全体に占める町債償還元金及び利子の割合は約57%であり、前年度と変わらない割合となっています。

## 合計

翌年度への繰越額			
	平成30年度	平成29年度	増減
歳入合計 (A)	949,779千円	944,661千円	5,118千円
歳出合計 (B)	944,212千円	931,206千円	13,006千円
翌年度繰越金 (A - B)	5,567千円	13,455千円	△7,888千円

## 平成 30 年度決算状況について

### 1. 総評

平成 30 年度の下水道事業特別会計決算額は、歳入が 9 億 4,977 万 9 千円、歳出が 9 億 4,421 万 2 千円となり、差引 556 万 7 千円が令和元年度へ繰り越されました。

事業の運営に係る経営分野の収支については、下水道運営経費では消費税の納付額が増加したことなどから増。下水道施設管理経費ではストックマネジメント計画（※下記参照）策定に伴う新規の調査委託費が発生したものの、酒匂川流域下水道維持管理負担金が前年度と比較して減額となったことにより、差引により減。

以上のことにより、運営経費、施設管理経費を合わせた総額では前年度とほぼ同水準となりました。

これら経費の主な財源となる下水道使用料は、前年度から微減となりました。

平成 31 年 4 月末から令和元年 5 月初めにかけて長期の連休があったことで、一部の使用料の支払い期日が翌月に繰り下がりました。その分については出納整理期間である令和元年 5 月末までに町に収納されず、結果として、決算額では例年より少なくなったと考えられます。

一方で、新規の管路整備など投資分野の収支については、公共下水道整備事業費が前年度から増となりました。整備面積、管路延長とも前年度を上回ったことで、工事費が増加したことによるものと考えられます。

事業費に対する財源の内訳では、整備の進行に伴って補助の対象となる区域が減少していることから、国庫補助金が前年度から減、町債の借入が増となっています。

---

#### (※) スtockマネジメント計画

→長期的な視点により、施設全体を対象とした点検・調査、修繕・改善の優先順位付けをすることで、最適化された管理を行うための計画。

## 2. 各費目の概略

- **分担金及び負担金**  
整備の対象となった土地の所有者等に負担していただき、主に下水道整備の財源となる受益者分担金と受益者負担金の合計です。
- **使用料及び手数料**  
使用料は、汚水の処理費として各家庭や事業所から納付された下水道使用料です。手数料は、設備業者が町内で下水道への接続工事を行うための登録費用です。
- **国庫支出金**  
下水道整備の財源として国から交付される補助金です。
- **繰入金**  
一般会計から下水道事業の財源に充てるための資金です。
- **繰越金**  
前年度（平成 29 年度）の歳入合計と歳出合計の差引により繰り越されたものです。
- **諸収入**  
他の歳入項目に分類されない収入の合計です。
- **町債**  
事業の実施、運営の財源として外部から借り入れた資金です。
- **一般経費**  
職員の給与や諸手当など、主に人件費に係る支出です。
- **下水道運営経費**  
事業の運営に伴い発生する事務的経費です。下水道使用料の徴収に係る委託料、公営企業として税務署へ納付する消費税などが含まれます。
- **下水道施設管理経費**  
管渠、マンホールポンプなどの保守や管理に係る経費、処理場の管理のために町が負担する酒匂川流域下水道維持管理負担金を合計した費用です。
- **公共下水道整備事業**  
下水道施設を整備するための投資費用です。管渠などの工事費と、実施のために必要な調査費、設計委託費などが含まれます。
- **酒匂川流域下水道事業**  
酒匂川流域下水道事業で実施する処理場などの整備に関して、町が負担する建設事業費負担金による支出です。
- **町債償還元金**  
これまでに借り入れた町債の償還に係る支出のうち元金分です。
- **町債償還利子**  
これまでに借り入れた町債の償還に係る支出のうち利息分です。

## 資料2

### 中期経営計画における各数値指標について〔計画値と実績値（速報）〕

		平成25～28年度 の中期経営計画				平成29～32年度 の中期経営計画			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 区域内人口	計画				25,350人以上				26,000人以上
	実績	24,380人	24,860人	25,040人	25,100人	25,170人	25,210人		
		平成25～28年度 の中期経営計画				平成29～32年度 の中期経営計画			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
② 人口普及率	計画	81.3%	82.0%	83.4%	85.3%	86.8%	88.5%	89.9%	90.0%以上
	実績	82.1%	84.6%	85.6%	86.5%	87.2%	87.8%		
		平成25～28年度 の中期経営計画				平成29～32年度 の中期経営計画			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
③ 水洗化率	計画	73.6%	74.0%	74.4%	74.6%	75.5%	76.4%	77.2%	78.0%以上
	実績	73.1%	73.4%	74.6%	75.0%	75.9%	76.8%		
		平成25～28年度 の中期経営計画				平成29～32年度 の中期経営計画			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
④ 使用料単価	計画	130円/m <sup>3</sup>	130円/m <sup>3</sup>	130円/m <sup>3</sup>	130円/m <sup>3</sup>	149円/m <sup>3</sup>	150円/m <sup>3</sup>	150円/m <sup>3</sup>	150円/m <sup>3</sup>
	実績	131円/m <sup>3</sup>	134円/m <sup>3</sup>	134円/m <sup>3</sup>	144円/m <sup>3</sup>	150円/m <sup>3</sup>	148円/m <sup>3</sup>		
		平成25～28年度 の中期経営計画				平成29～32年度 の中期経営計画			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
⑤ 汚水処理原価	計画	242円/m <sup>3</sup>	238円/m <sup>3</sup>	237円/m <sup>3</sup>	235円/m <sup>3</sup>	185円/m <sup>3</sup>	188円/m <sup>3</sup>	196円/m <sup>3</sup>	200円/m <sup>3</sup>
	実績	190円/m <sup>3</sup>	189円/m <sup>3</sup>	186円/m <sup>3</sup>	187円/m <sup>3</sup>	151円/m <sup>3</sup>	150円/m <sup>3</sup>		
		平成25～28年度 の中期経営計画				平成29～32年度 の中期経営計画			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
⑥ 経費回収率	計画	53.7%	54.6%	54.9%	55.3%	79.0%	80.0%	76.0%	75.0%以上
	実績	68.9%	70.8%	71.8%	77.6%	99.5%	98.5%		
		平成25～28年度 の中期経営計画				平成29～32年度 の中期経営計画			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
⑦ 年間有収水量	計画	1,741千m <sup>3</sup>	1,821千m <sup>3</sup>	1,872千m <sup>3</sup>	1,929千m <sup>3</sup>	1,800千m <sup>3</sup>	1,817千m <sup>3</sup>	1,843千m <sup>3</sup>	1,873千m <sup>3</sup>
	実績	1,772千m <sup>3</sup>	1,752千m <sup>3</sup>	1,777千m <sup>3</sup>	1,790千m <sup>3</sup>	1,801千m <sup>3</sup>	1,815千m <sup>3</sup>		
		平成25～28年度 の中期経営計画				平成29～32年度 の中期経営計画			
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
⑧ 町債元金残高	計画	68億円	66億円	65億円	63億円	59億円	57億円	54億円	51億円以下
	実績	67億円	65億円	63億円	61億円	59億円	56億円		

# 二宮町下水道事業中期経営計画

(平成 29 年度～令和 2 年度)

## 中間報告

(案)

令和 2 年 1 月

二宮町都市部下水道課

# 目 次

I	はじめに .....	1
II	各指標の目標達成状況 .....	2
	（1）事業経営の目標 ー達成状況ー	
	（2）中期指標 ー計画と実績の状況ー	
III	その他 計画と実績 .....	3
	（1）財政収支計画	
	（2）主要整備計画	
	（3）投資計画	
IV	経営基盤強化への取組の現状 .....	4
	（1）収入の確保	
	（2）経費の削減	
	（3）定員管理	
	（4）人材育成	
	（5）地方公営企業法の適用についての検討	
V	計画達成状況の公表 .....	5
	（1）公表の方法等	
	（2）公表の内容	
	用語解説 .....	6

本報告において、計画で「平成」と表記した年度について、改元にともない、一部「令和」と表記を変えています。



# I はじめに

## ○ 二宮町下水道事業中期経営計画の中間報告について

本計画は施設の整備、維持管理、経営の方針や目標等を明らかにし、下水道事業の健全な経営と経営基盤の強化を図るための事業計画を示したものです。

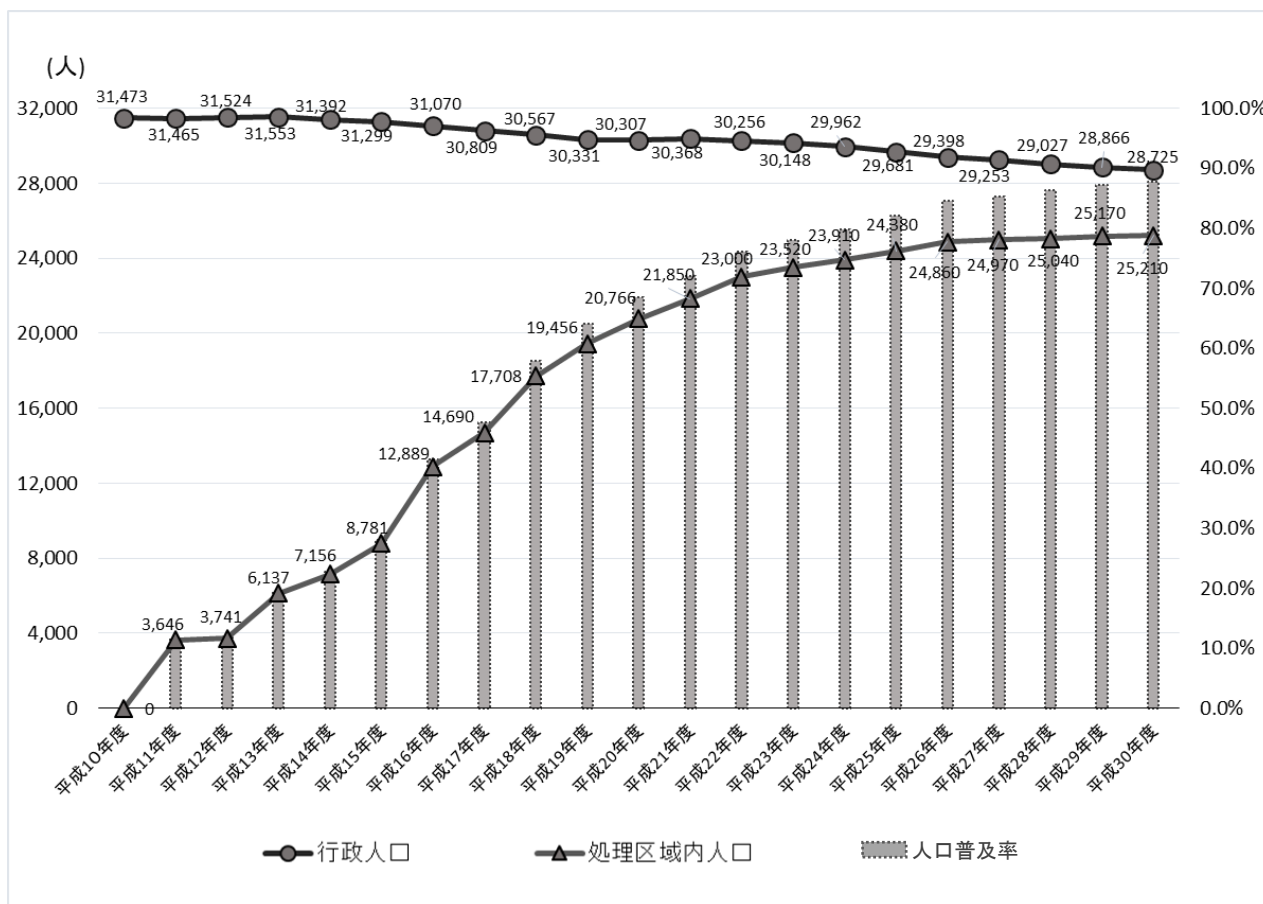
本計画の計画期間は平成29年度から令和2年度までとなっており、その達成状況について平成29年度、平成30年度の決算に基づき中間報告を行うものです。

## ○ 下水道事業の現状

本町の下水道は、酒匂川流域関連公共下水道として、平成2年に都市計画法及び下水道法の事業認可を取得し、平成3年から工事開始となりました。

平成30年度末の整備済区域面積は404.3haとなり、人口普及率は87.8%、水洗化率は76.8%となりました。

【行政人口、処理区域内人口と人口普及率の推移】



## II 各指標の目標達成状況

指標として設定した事業経営の目標および中期指標について、その達成状況を下表のとおり報告します。

### (1) 事業経営の目標 ー達成状況ー

項目	平成 30 年度 (中間報告)	令和 2 年度 (目標)
処理区域内人口	25,210 人	26,000 人以上
人口普及率	87.8 %	90 %以上
水洗化率	76.8 %	78 %以上
経費回収率	98.4 %	75 %以上
町債残高	56 億円	51 億円以下

### (2) 中期指標 ー計画と実績の状況ー

項目		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
人口普及率 (%)	計画			86.8	88.5
	実績	85.6	86.5	87.2	87.8
水洗化率 (%)	計画			75.5	76.4
	実績	74.6	75.0	75.9	76.8
使用料単価 (円/㎡)	計画			149	150
	実績	134	144	150	148
汚水処理原価 (円/㎡)	計画			185	188
	実績	186	187	151	150
経費回収率 (%)	計画			79.0	80.0
	実績	71.8	77.6	99.5	98.4
年間有収水量 (千m <sup>3</sup> )	計画			1,800	1,817
	実績	1,777	1,790	1,801	1,815

平成 29 年度および平成 30 年度の実績では、経費回収率が目標値を大きく上回っています。これは汚水処理に要する経費の算定において、総務省より一部費目の算定方法に係る見解が示され、それに基づき算定した結果、汚水処理費が縮小したためです。その他、平成 30 年度末時点で概ね計画に近い実績となっています。今後とも、供用開始通知文書のポスティング、下水道整備済区域の未接続世帯に対する接続勧奨を実施し水洗化率の向上に努める等、令和 2 年度目標の達成に向けた取り組みを続けます。

### Ⅲ その他 計画と実績

#### (1) 財政収支計画

##### ① 収支計画

(単位：千円)

項目			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
収 入	受益者負担金 (分担金を含む)	計画		13,521	15,301	27,000
		実績	13,290	11,348	18,607	17,303
	下水道使用料 (手数料を含む)	計画		255,658	268,197	272,759
		実績	238,248	263,596	270,259	268,671
	国庫補助金	計画		105,000	95,500	85,000
		実績	98,000	105,000	95,500	80,000
	一般会計繰入金	計画		384,922	400,380	428,066
		実績	411,428	386,646	390,226	375,147
	町債	計画		179,500	183,600	148,000
		実績	184,100	168,500	151,000	178,500
	その他	計画		15,005	6,005	8,005
		実績	15,143	5,471	19,069	30,158
	合 計	計画		953,606	968,983	968,830
		実績	960,209	940,561	944,661	949,779
支 出	維持管理費	計画		196,918	207,594	205,618
		実績	199,043	186,328	194,594	190,265
	整備事業費	計画		233,027	228,054	215,982
		実績	245,624	223,938	205,488	212,192
	公債費	計画		523,661	533,335	547,230
		実績	507,262	519,949	531,124	541,755
	合 計	計画		953,606	968,983	968,830
		実績	951,929	930,215	931,206	944,212

##### ②起債残高

(単位：千円)

項目			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
町債元金残高	計画			6,132,000	5,910,000	5,632,000
	実績	6,337,973	6,121,211	5,866,727	5,619,596	

## (2) 主要整備計画

事業名		事業期間	事業概要
汚水枝線整備	計画	平成 29 年度～ 令和 2 年度	釜野・百合が丘 1 丁目・中里地区の枝線管渠整備を行います。
	実績	平成 29 年度、 平成 30 年度	釜野・百合が丘 1 丁目・中里地区の枝線管渠 (16.98 ha) を整備しました。

## (3) 投資計画

(単位：千円)

事業名		平成 29 年度	平成 30 年度
汚水枝線整備	計画	206,220	200,000
	実績	193,342	206,636

## IV 経営基盤強化への取組の現状

### (1) 収入の確保

#### ① 供用開始区域の拡大と下水道接続促進の強化

下水道アクションプランの整備計画を基に整備を進め、供用開始区域の拡大を図りました。今後とも、供用開始通知文書のポスティング等による新規接続促進に努めます。

#### ② 収納率の向上

受益者負担金については、平成 30 年度の収納率は 99.3% です。町税収納担当課と連携を図りながら、引き続き催告および督促を行い、収納率の向上を目指します。

下水道使用料の徴収については、平成 15 年度より上下水道一括納付委託を県営水道区域の他市町村と共同で実施しており、平成 30 年度の収納率は 96.6% となっています。

#### ③ 使用料の適正化

料金水準が適切であるかを示す経費回収率は、現在の使用料水準でほぼ 100% に達しています。住民への負担が過度にならないよう留意しつつ、下水道事業の経営状況や町の財政状況を注視し、使用料の適正化に努めます。

### (2) 経費の削減

#### ① 民間活力の活用

当町で排出された汚水は、酒匂川流域下水道の酒匂水再生センターで処理されています。今後も適正で効率的な維持管理がなされるよう、引き続き神奈川県や施設管理を受託して

いる公益財団法人神奈川県下水道公社、流域関連市町と連携を図ります。

#### ②ストックマネジメント導入に向けた取り組み

平成30年度に、ストックマネジメント計画策定の一環として、築40年を超える管渠等を対象にカメラ調査を実施しました。ストックマネジメント計画の策定は令和元年度を予定しています。

#### ③不明水の削減

経費増加の原因となる不明水流入を防ぐため、劣化しにくい材質で管渠を築造しています。また、マンホール内や管渠の継手部分の目視による地下水流入の有無の確認や、排水設備工事の完了検査において雨水流入の有無など、接続工事が正しく行われたかを確認しています。

#### ④工事コストの削減

競合工事における舗装復旧費の低減調整や小型マンホールの活用等を通じ、適切な工法による工事コストの削減に努めます。

### (3) 定員管理

職員数は、引き続き適正な定員管理に努めます。

### (4) 人材育成

知識の共有および継承を行うとともに、専門研修への参加等を通じて幅広い知識を持つ人材の育成に努めています。

### (5) 地方公営企業法の適用についての検討

総務省より新たなロードマップが示され、人口3万人未満の自治体における下水道事業も令和5年度までに地方公営企業会計に移行することとされました。具体的な手法や適用時期の検討を進めています。

## V 計画達成状況の公表

### (1) 公表の方法等

最終報告は令和3年10月以降に、町ホームページで公表します。

### (2) 公表の内容

中期経営計画に示した計画数値と実績値を比較した達成状況を報告します。

## 用語解説

用語	解説
町債	公共下水道を整備するために必要な財源の不足分を、年度を越えて長期（1年以上）に借り入れるお金のこと。
人口普及率	下水道事業の進捗を表す指標。 下水道を利用できる区域内の人口÷行政人口
水洗化率	下水道を利用できる区域内の人口に対して、下水道に接続している人口の割合。
有収水量	下水道使用料の対象となる水量
使用料単価	1 m <sup>3</sup> の汚水に対し、いくら使用料を徴収しているかを表す。 使用料収入÷年間有収水量
汚水処理原価	1 m <sup>3</sup> の汚水をいくらの経費で処理しているかを表す。 汚水処理費÷年間有収水量
経費回収率	汚水処理にかかる施設の維持管理費や資本費が、どれだけ使用料で賄われているかを表す。 使用料単価÷汚水処理原価